

日野稻門会

かわう版

第8号

日野稻門会事務局

日野市旭が丘 1-3-9

秋田方 090-8175-6216

編集責任者 五十嵐耕一

<https://new.hinotomonkai.org/>

会長あいさつ

日野稻門会会長 宮本 誠二（昭48・政経）

皆さま

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春を迎えたことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、当会の活動に対しまして、格別のご支援とご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

本年も「和」を大切にし、世代や分野を越えた交流の場を充実させ、母校及び地域社会との絆をさらに深めていくと共に、日野稻門会という共通の絆が、皆様の人生や地域の活力となるよう努めてまいります。

また、女性や若い世代の皆様の参加も一層呼びかけ、活気あふれる会運営を目指してまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして幸多き一年となりますよう、心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

尚、今年最初の行事として、2月8日（日）に新春懇談会を多摩平交流センターで開催いたします。多数の皆様の参加をお待ちしています。

イベント予告 令和8年 新春懇談会 with 日野混声合唱団

今年の新春懇談会は2月8日（日）に開催いたします。

昨年までの映画上映会から趣を変えて、「日野混声合唱団」の皆さんによる春を呼び込む明るい歌声で新春懇談会のオープニングを飾っていただきます。

★場所：多摩平交流センター3階 集会室6

（豊田駅徒歩5分/イオンモール多摩平の隣り）

開始時間・会費・内容・申込方法など詳細は別紙チラシ

または、[日野稻門会ホームページ](#)を参照ください

担当：庄山幸司



contents

・会長あいさつ・イベント案内	1	・会員皆さんからの投稿	4
・行事予定・イベント報告	2	・同好会連絡先・編集後記	8

2026年の主な行事予定

総会の開催について	開催日	行事名	場所
1. 日時：令和8年6月14日（日）	2月8日(日)	新春懇談会	多摩平交流センター
2. 場所：（未定）	3月下旬	お花見	（未定）
3. 総会様様：総会、講演会または演奏会、懇親会	4月中旬	多摩川・浅川クリーン作戦（第17回）	浅川一番橋付近
詳細はあらためて連絡します	6月14日(日)	総会（第47回）	（未定）
	6月中旬	コスモスアベニュー事業（第29回）	浅川スポーツ公園
	10月中旬	秋の収穫祭（第28回）	日野市役所近くの農地
	10月18日(日)	2026稲門祭/ホームカミングデー	早稲田大学キャンパス
	10月頃	東京三多摩支部大会（第23回）	（未定）

行事は、諸事情により変更する場合があります（ホームページ、メール、チラシなどで会員の皆さんに連絡します）

12ある同好会の予定は、日野稲門会ホームページの「同好会一覧」からそれぞれ選択して確認できます

<https://new.hinotomonkai.org/club/>

イベント報告

「コスモスアベニュー」

秋に咲くコスモスには「秋桜」という漢字を当てるのは皆様ご存知の通りです。この美しい名前の秋桜で公園を彩ろうという日野市のコスモスアベニュー事業に稲門会は昨年も参加致しました。事業そのものは28回目、稲門会としては連続して4回目の参加となります。高幡不動・ふれあい橋北詰めにある浅川スポーツ公園の入り口から周囲に区画割されて、前回に続き「日野稲門会」と「稲門会三多摩支部」でふれあい橋から正面の2区画をいただきました。

6月21日（土）に稲門会の花好き、土いじり好き有志6名の参加を得て種蒔きを行いました。夏から秋にかけて水遣り、草取り等を行ない、秋にはその名の通りの美しい秋桜の花を咲かせられるよう手入れをしました。



日野稲門会は「コスモスアベニュー事業」には毎年参加しております。2026年も時期になりましたらスケジュールをご案内しますので、秋桜に興味のある方のご参加をお待ちしております。花を見るのが好きな方は、秋になりましたら散歩がてら浅川スポーツ公園沿いのコスモスアベニュー

にお立ち寄りください。「日野稲門会」のプレートが目印です。

土壤整備・種蒔き・草取り等ご協力くださった有志の皆様、ありがとうございました。

第4回 美術作品展

8月13日(水)～16日(土)の4日間、ひの煉瓦ホール（日野市民会館）展示室で開催されました。今回は、八王子早稲田会から8名の方々と狛江稲門会の上村会長に出展していただいたことで、出展者20名、出展数84点とこれまでの倍近い規模のバラエティーに富んだ楽しい作品展になりました。



また、猛暑が続くお盆休みの期間にも拘らず、4日間で170名の来場者があり、芸術を愛する人たちの交流の場にもなっていました。この作品展は、隔年開催となっておりますが、地域における早稲田繋がりの仲間による催し物として、続けて行けたらと思っています。

藤野健治さんのご協力で、出展された作品のスナップを Google Photo にアップいただきました。右の QR コードから一覧できますので、スライドショウなどで再度お楽しみください。



日野稻門会「美術作品展」に 出展させて頂きました

八王子早稲田会 副会長 土生 憲章

今回八王子早稲田会の美術愛好家有志が初めて日野稻門会美術展に参加させて頂きました。予想以上に八王子からの参加者が増えて日野の皆様にご迷惑をお掛けして申し訳有りませんでした。日野の皆様の素晴らしい数々の作品の中に我々の作品を展示させて頂きましたが、会場一杯に分野の違った各種の作品が展示されて素晴らしい美術作品展に成ったと思いました。更に後日八王子駅前の小さなレストランで参加者有志による懇親会が開催出来て楽しく歓談出来

ました。

八王子早稲田会にはアートクラブが有り、年一回の展示会を開催しておりましたが昨年20回目の開催を機に終了解散しました。今年からアートクラブ会員の発表の機会が無くなってしまったところに日野稻門会宮本会長から声掛けを頂きまして八王子の会員は喜んで参加させて頂きました。



今回の作品展では日野稻門会の皆様に全ての準備をして頂きました。次回の開催には八王子早稲田会の参加者も準備運営のお手伝いをさせて頂きますのでご用命下さい。

この日野稻門会美術作品展には今後も八王子から積極的に参加させて頂きます。更にこの機会に日野稻門会と八王子早稲田会の一層の懇親を深めたいと祈念しますので宜しくお願ひ致します。

3

2025 ホームカミングデー・稻門祭



2025年10月19日(日)、早稲田大学のキャンパスにおいてホームカミングデーと稻門祭が開催されました。今回のテーマは「ありがとう早稲田～」でした。

日野稻門会からの稻門祭実行委員として青木雅介さんが南門で他地区稻門会の実行委員の方、年次役員の方、現役奨学生の方と一緒に記念品の現地販売に携わりました。

我が日野稻門会は会員皆様のご協力のお蔭で前年に引き続き現役生への奨学金となる記念品のご購入による売上高と寄付金の合計で目標額

を達成することができました。会員の皆様のご協力の賜物であり、大変感謝しております。

そして校友会よりの抽選品として今回は「職域特選賞」に1名「ふるさと・年次・職域賞」に3名当選されました。

“おめでとうございます”

皆様 次回も母校の奨学生の為どうかよろしくお願い致します。

尚、当日はホームカミングデイとされ各年次の校友が再会する機会ともなっています。卒業年度にかかわらずどなたでも参加できますので、毎年母校を訪ねてみてください。

楽しく進めることができました。参加費を従来の1家族300円から500円に改定しましたが、皆さん充分にご満足いただけたようです。



これからも、恒例イベントとして多くの皆様に参加頂けるよう盛り上げていきたいと思います。

会員皆さんの投稿

第27回 秋の収穫祭

昨年11月3日(文化の日)に「第27回日野稻門会秋の収穫祭」を開催しました。



25家族52人にご参加を頂き、無事開催することができました。近隣の八王子早稲田会からもご参加いただき交流の場となりました。

当初予定の10月25日が雨天のため延期となり日程を変更しての開催となりましたが、お子様含め多くの方に参加いただき盛会となりました。

昨年は夏場の猛暑、雨不足により芋の発育が例年に比べよくない状態で、さつま芋、里芋とも小ぶりのものでしたが、さつま芋は昨年よりもたくさんあって収穫を楽しむことができました。持ち帰って食べたら甘くておいしかったです！

(残念ながらハツ頭の収穫はあきらめました)



また、さつま芋重量コンテストでは重量測定にお子様たちが率先してお手伝いをしてくれ、皆で

地震発生のメカニズム

野尻 明美(昭38・工研修)

地震はどうして起きるのでしょうか？

地震国でもある日本の政府は学校でも2種類の地震があることを教えています。右ページの図の①(直下型)「活断層が切れて起きる」②(海溝型)「海の底でプレート(岩盤)がずれて起きる」の2種類です。ではどうして活断層が切れるか大地を揺らすかの地震が起きるのでしょうか？先生は答えられないはずです。

岩盤は岩で出来ているので押されれば岩の隙間が縮むだけで、引っ張られたら隙間が開くだけで地震は起きません。

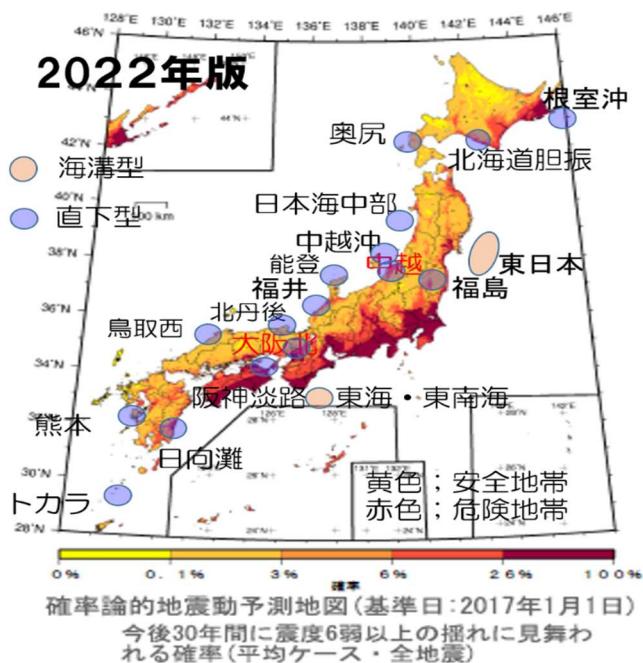
では海の岩盤はどうしてずれるのでしょうか？海の岩盤は沖の方から陸に向かって沈み込んでいるのです。そのとき陸の岩盤との間にはキノコのように山が生えてきたり氷のように引っ付いたり離れたりするものが挟まっているのでブレーキがかかっていますが、このブレーキが壊れるとずれて地震が起きることです。でもそのキノコの山は何時出来たのですか？氷のようなものは冷たいのですか？ずれて大地を揺されますか？先生は答えられません。そんなものは無いはずです。

私は次のように考えています

地下水(H_2O)が岩の隙間から浸み込んで地下深くのマグマという真っ赤に溶けた岩に近づくと酸素(O)と水素(H)に分かれて岩の中に浸み込むのです。その浸み込んだ岩をマグマといい、軽いので次々と浮かび上がって纏まると大



きなマグマ溜まりとなります。さらに温度が上ると酸素と水素が結合し、ドカーンと水素爆発が起きて地震が起き大地を揺らすのです。酸素と水素は結合すると水になり、また温められて酸素と水素に分解し、これが結合爆発すると余震となり、マグマが冷えるまで何度も繰り返します。陸地付近の地下で起きるとその上の岩盤にひびが入って活断層となるのです。海では縮んでいた陸のプレートが跳ね上がり戻るの



で地震が起きると同時に津波が起きるのです。

この仮説なら、すべての地震発生のメカニズムを合理的に説明できるのです。例えば大地震は左の図のように政府がつくったハザードマップの安全地帯ではかり起きています。これはハザードマップが間違っているので地震の安全地帯では突然の大地震で被害が大きくなるのです。

次回は具体的に直下型地震と液状化火災の説明します。

バードウォッチング同好会 創設 25 周年を迎えて 阪本 昭夫(昭 37・教育)

「バードウォッチング同好会」は、昨年11月8日に、八王子市の湯殿川岸で開催された第41回で、創設25周年を迎えました。

この会は、かつて日野稻門会の幹事であった下重光正氏（故人）が発起人となって、スタートしました。下重氏は、八王子・日野カワセミ会員でもあり、野鳥に関してたいへん造詣の深い方でした。第1回の「バードウォッチング同好会」は、2001年11月11日、16名の方々が参加して行われました。当日は時折、青木繁昌氏（八王子・日野カワセミ会員）の解説を聞きなが

ら、浅川に架かる「ふれあい橋」を出発し、「一番橋」を回るコースを観察しました。



〈第1回バードウォッチングの写真〉

この日は、〈空飛ぶ宝石〉と言われる、カワセミをはじめ、31種の野鳥を目と耳で確認することが出来て、大成功でした。

下重氏は、かねがねバードウォッチングは、「川」だけを見て回るのではなく、「森林」や「干潟」のような異なった環境の場所でも観察することが大切だと言われていました。



（ふれあい橋から野鳥を観察）

そこで、第2回の観察地を「高尾山」に決めました。この回から講師として、八王子・日野カワセミ会々長の粕谷和夫氏にご指導いただき、今日に至っています。続いて第3回は、「谷津干潟」、そして第4回は、「軽井沢」へ出かけました。しかし、参加者が5名となってしまったうえに、観察できた野鳥の数も少なく、期待はずれでした。以後、近間で開催することに切り替えたのです。

ところが、軽井沢に出かけた半年後に、下重氏が急逝され、「バードウォッチング同好会」も中断してしまいました。

1年ほどブランクがあった後、熱心な会員の方々から、再開を望む声があがりました。そこで、筆者が幹事役を引き受け、再び開催することに決めました。このとき、現幹事の鈴木武彦

氏の協力を得て、2004年、「葛西臨海公園」で再スタートを切ったのです。

その後、2012年からは、筆者に代わり、新たに玉木雅治氏が幹事となって、現在まで続いている。

最近、各地で行われる河川の護岸工事やマンション建設などの影響で、野鳥の数が減少しています。そのため、講師と幹事の方々がバードウォッチングに適した場所選びに苦労されているようです。何かと困難が伴うことと思いますが、「バードウォッチング同好会」の今後のさらなる継続と発展を願っています。

★バードウォッチング同好会の活動履歴は
ホームページで閲覧できます

第9回（2007年5月）～
第35回（2022年11月）



第36回（2023年3月）～
第41回（2025年11月）



興味のある方はお気軽にご参加ください。

早稲田の親友を亡くして

後藤 秀機（昭41・理工）

昨日、定家義人君が亡くなつた。入退院を繰り返していたが、肺炎が命取りになつた。



彼は、学生時代私と同じコースを歩んだ。早稲田の物理を出てから、東工大大学院の原子核工学科に進んだ。私たちは、大学院でも、同じ分野—放射線生物学を、平等な同級生として学んだ。

しかし、研究者になってからは、彼の方が常に私の上を行つた。実際、彼は、先に博士になつた。アメリカ留学したのも彼が先だった。羽田からジャンボ機で飛び立つ彼をうらやましい気持ちで見送つた。結婚したのも、教授になつ

たのも、いつも彼に先を越された。

ところで、私たち原子核工学科は、大学院の修士課程を終えた後も、毎年クラス会を持っていた。ある年、みんな定年退職した年寄りになっていた。同級生たちは、原発設計とか、原子炉物理とか、核燃料とかの専門家として、東芝、日立、三菱、東電などで活躍してきた。

一方、私と定家君は、放射線影響と言う原発の負の側面から出発し、大学の研究者として自由に振舞ってきた。原発には慎重なところがある。私は、その年のクラス会でも、ついつい単純な原発慎重論を主張してしまった。気まずい雰囲気で集まりが終わったが、定家君は、余計なことを言わず、一言連絡をして来た。

「彼らは、原発で食べてきた人たちだよ」原発の善悪を論ずるのも良いが、相手も人間であることを忘れず、彼らのプライドを傷つけない方が良い、と言うアドバイスだった。私は、理屈オンリーの機械的なところがあるが、定家君は人の心も大切にする人だった。彼が、私と彼らとの間に割って入ったことが以前にもあった。定家君のそんな人柄ゆえ、彼が仲裁に入ると、同級生たちはすぐに矛を収めた。

（この文章は昨年11月に寄稿されました。
定家義人様のご冥福をお祈りします）

囲碁と歩んだ人生

藤野 健治（昭49・理工）

中学時代、父から立川高校囲碁部の全国優勝を聞いたことがきっかけで囲碁にのめり込み、高校では棋力を伸ばし全国大会で入賞。大学では早稲田囲碁会に所属し、関東リーグや全国団体戦で連続優勝を経験した。仲間と共に囲碁に打ち込んだ青春は、今も誇りである。

囲碁は古代中国に起源を持ち、奈良時代に日本へ渡り、貴族や武士の教養、女性の娯楽として広まった。江戸時代には幕府の庇護のもとプロ棋士が誕生。現代では東アジアのみならず欧米にも普及し、ヨーロッパ碁会議には毎年千人以上が集う。筆者自身も参加し、囲碁が国境を越えて人を結びつける力を実感した。



米国赴任時には研究所内の囲碁会に迎えられ、言葉の壁を越えて交流できた。ノーベル賞受賞者との対局もあり、囲碁が人生を豊かにする場面を数多く経験した。

囲碁は勝敗だけでなく「美しい一手」や過程の調和を重んじる哲学的営みである。



盤上は人間関係や社会の縮図であり、禅の修行にも通じる。無心で打つ境地は脳を覚醒させ、認知症予防にもつながるとされる。囲碁は単なる娯楽を超えて、人生の呼吸や余白を映す存在である。

近年はAI囲碁ソフトが登場し、人間を凌駕する力を示した。一方で地域の囲碁活動は衰退し、日野稻門会の稻石会もコロナ後に休止状態となっている。

筆者は囲碁という伝統文化を復活させたいと願い、初心者でも棋力に関係なく楽しめる場を再び築こうとしている。囲碁は世代を超えて人を結びつける静かな灯火であり、一度碁盤に向かえばその幽玄な世界が人生の伴侶となる。ぜひ共に味わってほしい。参加を歓迎します。

＜写真説明＞

- ① 2016年7月 EGC（ヨーロッパ囲碁会議）
ロシアサンクトペテルブルク大会スロバキアペアチャンピオンとペア碁親善対局
- ② 1986年9月 米GE中研 Ivar Giaeverさんへの指導対局 1973年超電導でノーベル賞受賞

カラオケ同好会	
幹事：小笠原 豊	080-5532-0781
ogasawaray@jcom.zaq.ne.jp	
バードウォッキング会	
幹事：玉木 雅治	090-4840-3261
tamaki423@gmail.com	
早慶戦を応援する会（野球）	
幹事：生川 博	090-5302-2775
hiroikawaikiiki@outlook.jp	
テニス同好会	
幹事：青木 雅介	090-5794-0847
aokimarchan@gmail.com	
男の料理塾	
幹事：松島 修	080-7833-5901
o.matsus28@gmail.com	
ゴルフ同好会	
幹事：上田 實	080-9340-8388
umjthey@jcom.zaq.ne.jp	
健康麻雀同好会	
幹事：上田 實	080-9340-8388
umjthey@jcom.zaq.ne.jp	
荒ぶる会（ラグビー）	
幹事：庄山 幸司	090-6027-8404
ko_shoyama@ybb.ne.jp	
ハイキング同好会	
幹事：南 正隆	090-8109-3871
minami.masataka@akane.waseda.jp	
史跡巡りの会	
幹事：上田 實	080-9340-8388
umjthey@jcom.zaq.ne.jp	
競馬観戦を楽しむ会	
幹事：京極 英二	090-2417-5618
kr64uy@biglobe.ne.jp	
源氏物語を読む会	
幹事：京極 英二	090-2417-5618
kr64uy@biglobe.ne.jp	

同好会連絡先

日野稻門会には12の同好会があります。各同好会の内容や活動など詳細はホームページに掲載していますので、ご覧ください。入会希望などの連絡先は左記のとおりです

会員募集

皆さんのお友達・お知り合いで、日野市に在住・在職・ゆかりある早稲田大学卒業生を日野稻門会に勧誘ください。

こちらのホームページに楽しいイベントや同好会活動を掲載しています。メールでも申込できます。



日野稻門会ホームページ 入会申し込みはコチラ

編集後記

今回はいろいろな投稿をいただき、盛りだくさんの内容になりました。

- ・近い将来大震災が来るといわれ、誰もが気にしていることですが、学会の定説とは違った観点から切り込む野尻 明美氏の「地震のメカニズム」はとても興味深く、連載します。
- ・囲碁同好会の復活に向けて藤野健治氏にご協力いただき、イベントを検討中です。あらためてご案内しますので、これからやってみようと思い立ったが吉日です。

発行：早稲田大学校友会 日野稻門会

編集長：五十嵐 耕一（広報担当）

編集委員：宮本 誠二、秋田 叔彦、上田 實、松島 修、青木 雅介、庄山 幸司、山本 明、川名 達也

★日野稻門会のホームページ

<https://new.hinotomonkai.org/>